

第 193 回ラドテック研究会講演会

期 日：2026 年 1 月 15 日（木）13：00～16：40
会 場：早稲田大学内コマツ 100 周年記念ホール
主 催：一般社団法人ラドテック研究会
協 賛：一般社団法人近畿化学協会・一般社団法人色材協会・合成樹脂工業協会
一般社団法人日本接着学会・フォトポリマー懇話会
一般社団法人有機エレクトロニクス材料研究会（予定 順不同）

<プログラム>

敬称略

1) 13：00～13：50（質疑応答含む）

「分子内エステル交換を利用した分解が可能な UV 硬化型接着剤の開発」

信州大学 高坂 泰弘

ラジカル開環重合を利用すると、ビニルポリマーの主鎖にエステル結合を導入できる。本研究では、隣接単位がもつアルコール側基を起点に主鎖エステル結合を切断する手法を開発し、UV 硬化型解体性接着剤に応用した

2) 13：50～14：40（質疑応答含む）

「光ペルフルオロアルキル化反応の開発」

お茶の水女子大学 矢島 知子

光反応は、近年盛んに研究が行われている。我々も紫外光・可視光を用いた含フッ素化合物の合成法の開発に関する研究を行ってきた。本講演では、これらの合成法を紹介し、それぞれの特徴などについて議論する。

14：40～15：00 休憩

3) 15：00～15：50（質疑応答含む）

「アクリル系環化重合性モノマーの開発と UV 硬化分野での応用展開」

株式会社日本触媒 橘 敦

1,6-ジエンのラジカル環化重合により得られるポリマーは、その主鎖骨格に由来する高耐熱性や強靱性等の特性から UV 硬化物への機能付与に有用である。本講演では環化重合性モノマーの合成例と応用展開を紹介する。

4) 15：50～16：40（質疑応答含む）

「アミド構造を有する 3D プリンタ向けオリゴマーおよびモノマーの開発」

K J ケミカルズ株式会社 清貞 俊次

物流革命の一翼を担う技術として 3D プリンタが注目されている。本講演では、当社の技術を生かしたアミド基含有のウレタンオリゴマー、アクリルモノマーに加えて、安全性の高い光開始剤について紹介する。

17：00～18：30 懇親会

※プログラムは変更になる場合がございます。